

# チャレンジ ～挑戦～



信陵中学校 学校だより

令和 5年 6月16日  
第 3 号  
文責: 校長 青柳

## 教育目標 「自律・協働・挑戦」

### 失敗を恐れず「チャレンジ・挑戦」すること！

6月6日(火)から8日(木)、各会場にて福島支部中体連総合大会が実施されました。応援や観戦の制限も緩和され、以前の形に近い大会開催となりました。3年生にとっては3年間の集大成でもある大会に向けて、自分たちの目標に向かって部員全員が一丸となり練習に熱心に取り組んでいました。その結果、各競技ですばらしい頑張りがみられました。

しかし、中には努力したにもかかわらず思うような結果や成果とならなかった生徒もいることと思います。そこで、このような大会に限らず、結果で判断されがちな場面で、保護者の皆さんからお子さんに話をしてほしいことがあります。



○ まずは、お子さんから普段からの活動の様子などを聞いていただき、できれば「なりたい自分」や、「自分の目標」などの話をさせてください。



○ 大会や活動後は、成績や結果にこだわらず、その「取り組み」や「過程（プロセス）」での努力した姿を、ぜひ認めてほめてあげてください。

○ そして、努力は人間を成長させ、成長することで可能性をひろげ、様々な能力を身に付けていくことを話してあげてください。



○ 時にはその努力が必ずしも報われず、成功率も100%ではないにしろ、やがて、その努力を続けていくことで、成功に導くための確率がどんどん上がっていくことになることをぜひ教えてあげてください。

今回の大会も含めた「成功や失敗」は、子供たちにとって新たな「目標や挑戦」に向けての、貴重な「経験やエネルギー」につながっていきます。6月20日(火)・21日(水)には各会場で中体連の県北大会が開催されます。今後も、様々な「チャレンジ・挑戦」をしていくお子さんたちを見守り、励ましていただければと思います。

### ～「非認知能力」の育成について～

学習テストや体力テストなどと違い、数値で表せない能力のことを「非認知能力」と呼び、近い将来子ども達が迎えるだろう国際（グローバル）化やAIなどの技術革新による高度情報化社会などの予測困難な時代に必要とされ注目されている力です。

この能力は、大きく2つの力があり、

- ・「自分に関する力」自尊心、自己肯定感、自立心、自制心、自信など
- ・「人と関わる力（社会性）」協調性、共感する力、思いやり、社交性、道徳性など

部活動などは、身体的、精神的な努力が必要とされ、チームワークを構築するために様々なことを学べ、非認知能力を培うために大変有効とされます。今後の学校行事で中体連以外にも職場体験、文化祭などが予定されており、「非認知能力」を身に付けられるよい機会として生徒へも意識付けさせていきたいと思っています。

